


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

ふりがな	ほんだ かつのすけ			
氏名	本田 勝之助			
所属	本田屋本店有限公司			
役職	代表取締役			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	965-0022 福島県会津若松市滝沢町5-73	
	電話番号	0242-25-1778		
	メールアドレス			
キャッチコピー	地域の文化歴史、環境と経済性の三方持続可能な地域づくり			
自己PR	<p>地域の課題は、様々な分野をまたぐ連携をもって取り組まなければ解決できないものが増えている。地域ブランドも、地域内の生活領域にある食や医療、福祉、ICT含め生活に根差したところから創造され続ける仕組みにしなければ一過性のものに終わってしまう。</p> <p>取り扱う領域の広さとその相互の戦略連携を「まちの持続可能性」という外部価値視点で構築推進することが今や自分にオファーされる地域要望の殆どを占めてきている。</p> <p>また、昨今のスマートシティは、地域の持続可能な成長モデルに活かせる仕組みに出来るとその相談やコンサルティング業務が増えている。</p> <p>地域課題の解決と共に、日本における地域の先進モデルを作り続けるプロフェッショナルとしてこの世界の第一線を走り続けたいと思っています。</p>			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	本田屋本店有限公司		hondaya.jp	
	一般社団法人dialogue		dialogue.social	
	AKASHIRO（日本各地のボンセンによる優しい社会づくりプロジェクト）		hondaya.jp/akashiro	

2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p><経歴></p> <p>本田屋本店有限公司 代表取締役 文化庁：日本遺産統括プロデューサー 内閣府：クールジャパン地域プロデューサー 早稲田大学政治経済学部卒業。</p> <p>2004年（有）会津食のルネッサンス創業（地域の食と農業のプロデュース業）現：本田屋本店。 2006年（株）ヒルサイドコネクション創業（日本伝統産業の新規事業立ち上げ、コンサルティング）。 2011年 NewsWeek “日本を救う中小企業100” に選ばれる。 2014年 会津地域スマートシティ推進協議会事務局長 2018年 一般社団法人スマートシティ会津 専務理事 2020年 一般社団法人dialogue 専務理事（ジャパンワーケーションアカデミー） 2020年 クールジャパンマッチングアワード特別賞（青森県下北ジオガストロノミー・ツーリズム）</p>
--------	---

3. 取組分野

● 観光	（歴史文化財を活用した観光「日本遺産」のプロデューサーとして約10年間多様な地域に対しアドバイスやコーディネートを行っている。 また、環境省・熊本県・くまもとDMCと協定を結び、国立国定公園など環境保全を実現しつつ企業と地域をつなぐBtoB観光を実施している。）
● 移住・定住・関係人口	（会津若松市でのスマートシティ企業群32社の企業誘致による移住定住促進や、BtoBワーケーション等の関係人口づくりなど多様な地域戦略の実施やアドバイスを行っている）
● 農林水産業	（20年前から独自の肥料農法を開発し自社ブランド米として名店への販売や海外輸出を自社でも行いながら多地域での伝統野菜や農産物ブランディングPRなどを長年支援している）
起業支援	（
まちなか再生	（
集落再生	（
環境	（
その他	（

4. ふるさと財団での実績

外部専門家（活用助成）	<ul style="list-style-type: none"> ◆2021年度～23年度 栃木県下野市「東の飛鳥による歴史文化を活かしたまちづくり事業」 ◆2020年度～21年度 福島県磐梯町 会津磐梯山は宝の山よ、「トレジャーハント磐梯」事業 ◆2018年度 福井県高浜町 「観光×移住×次世代によるクリエイティブビーチ創出プロジェクト」 ◆2015年度 福井県高浜町 「「6次産業振興型 城山ライフスタイル」魅力向上プロジェクト」 ◆2015年度 山形県長井市 「ながいシティプロモーション推進事業」 ◆2014年度 新潟県十日町市 「地域商社新商品開発プロジェクト事業」 ◆2013年度 新潟県上越市 「北陸新幹線開業に向けた特産品開発支援事業」
-------------	--

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 「東の飛鳥」による歴史文化を活かしたまちづくり事業～アフターコロナに向けて～</p> <p>(2)対象地 : 栃木県 下野市</p> <p>(3)事業目的:、地域の人々の誇りとなる「東の飛鳥ブランド」による観光や地域産業の振興</p> <p>(4)事業内容: 下野市のキャッチコピーづくりワークショップの実施 キャッチコピーづくりによって市の魅力のコンセプト整理を行い、市民の巻き込みを図る。</p> <p>(5)事業による成果: 市民と市の若手職員によるWSによって、ブランディングのためのキャッチコピーが完成した。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 「観光×移住×次世代によるクリエイティブ創出プロジェクト」</p> <p>(2)対象地 : 福井県 高浜町</p> <p>(3)事業目的: 地方創生の指標となる『人口移動』『特殊合計出生率』に関わる住民まちづくり事業、そして『都市部での応援団』を育て、『適切な産業』を創出するための民間まちづくり事業を展開していくこと</p> <p>(4)事業内容: 高浜町における「SUP」「浜茶屋」「民宿」の3つの地域素材について、各1つずつのクリエイティブ事業に着手するとともに、モバイルを活用したデジタル情報発信とデータ分析を行う取り組みを試行する。また、将来的に自立自走できるプロジェクトとすることから、積極的にクラウドファンディングを活用し、資金調達およびPRを図る。</p> <p>(5)事業による成果: 6月に「SUP」インストラクターの養成講座を実施し、10名のインストラクターを養成することで、受入れ体制の拡大が図られた。また、関西の大学生で企画からデザイン・設営、運営までを実施する「学生浜茶屋」や「民宿活用イベント(和田de路地祭)」とLINE@を活用した『PLAY! TAKAHAMABOT』との連携を図った。この結果、夏の期間だけで、「友だち」2,500人以上を関西中心で獲得し、体験・浜茶屋・民宿の連携した情報発信と集客・案内の仕組みを立ち上げた他、学生浜茶屋の売上増にも貢献した。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : ながいシティプロモーション推進事業</p> <p>(2)対象地 : 山形県 長井市</p> <p>(3)事業目的: シティプロモーションの強化により、地域の魅力を高め、田舎暮らしを志向する人や若い子育て世代に選ばれる自治体を目指すことで、人口減少の抑制・地域経済の活性化・活発な地域づくりに繋げていくこと</p> <p>(4)事業内容: 地域おこし協力隊推進連携事業 地域おこし協力隊員が企画した、フラワー長井線を利用して史上初となる「ローカル線プロレス列車」が実現した。SNSをはじめ、テレビ、新聞、雑誌などで取り上げられ、大きな話題を集めることができた。また、新たな子育て支援事業「Baby Box企画」の発案等、今までになかった取り組みが生まれており、今後も隊員の創造的なアイデアを取り入れながらシティプロモーション活動を展開し、重要なプレイヤーとして育てていくこと</p> <p>(5)事業による成果: 長井にある地域資源の強みを際立たせるため、コンセプトメイクによる魅力の絞り込みを行いながら、何をどのように売り込むかのブランド戦略づくりを進めた結果、他の地域にはない“とんがり”として、「天然水100%の子育てライフ ながい」のシティコンセプトを地域一丸となって打ち立てた。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 : 北陸新幹線開業に向けた特産品開発支援事業</p> <p>(2)対象地 : 新潟県 上越市</p> <p>(3)事業目的: 販売先・販売方法を見据えた特産品の研究開発から市場開拓及び販路拡大までをトータル支援し地域産業の活性化</p> <p>(4)事業内容: 地域ブランドとなる認証制度を立ち上げた。認証のキーワードは、「北陸新幹線開業に向けたチャレンジ」「認証後も進化していく」とした。</p> <p>(5)事業による成果: 北陸新幹線開業に向け、ビジネスチャンスが拡大することから事業者の事業拡大への取り組みが高まった。特産品開発についても、上越市の特徴、資源を生かし、販売先・販売方法を見据えた研究開発や現在の土産物のブラッシュアップへのセミナーやアドバイスなどにより事業者の機運を盛り上げた。また、販路拡大、販売促進につなげていくために、新たに設置するメイド・イン上越の認証制度に対しコンセプトの作成、認証基準などへのアドバイス、マネージャーの持つネットワークを生かしたバイヤーやシェフとのマッチングを行った。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <p>2015年度 福井県高浜町 「「6次産業振興型 城山ライフスタイル」魅力向上プロジェクト」</p> <p>2014年度 新潟県十日町市 「地域商社新商品開発プロジェクト事業」</p> <p>など</p>